

Catalogue No.

20606-750

大切な器だから、永く使いたい。

器のお手入れ方法や色々な豆知識をご紹介します。

陶器・ガラス

土物



- 茶渋やシミなどをつきにくいようにするために、ご使用前に熱湯に浸してください。また、あらかじめ生地に水分を十分含ませてからご使用ください。
- ご使用後は、台所用洗剤で汚れをすぐに落とし、よく洗い流してください。また、完全に乾燥してから、ご収納ください。
- 陶器は吸水性がありますので、ご使用後は、水に浸したままにしておきますと汚れた水を吸収し、カビやシミ・臭気の原因になりますのでご注意ください。
- 茶渋やシミなどの汚れが気になる場合は、台所用の漂白剤などをご使用ください。



貫入



- 素地と釉薬の収縮率の違いを利用して、釉薬上にひび割れを生じさせる技法です。
- 長時間にわたり、食物や汁物を入れたままにしておきますと、汚れがひびに染み込み、取れにくくなります。



漆器

- 新しい漆は匂いがすることがあります。お酢を含ませたガーゼで拭いた後洗い流すか、米ぬかに入れておくと匂いが消えます。
- すすぎには、お湯を使い水切れをよくし、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。その後、直射日光を避け乾燥させてください。
- 天然の漆は傷がつきやすいので、他の食器と一緒に洗わず漆器だけで洗ってください。

金・銀・絵付け



- 電子レンジやオーブンには、使用しないでください。ご使用後は、台所用洗剤を使用して柔らかいスポンジや布で軽く洗ってください。
- クレンザーやナイロンたわしなどで強く洗うと金や銀・絵柄が剥げたり、表面にキズが付きますのでご注意ください。
- 食器洗浄機を長時間使用されますと、金や銀・絵柄を傷める原因になりますのでご注意ください。
- 銀絵付製品には、漂白剤を使用しないでください。



交趾



- 業務用の食器洗浄機を使用しますと破損する事がありますのでご注意ください。
- 酸性食品により、変色する事がありますのでご注意ください。

ガラス



- 中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して、スポンジや柔らかい布で丁寧に洗ってください。カット加工がある物は、柔らかいブラシで洗ってください。内側を洗う時は、ひねり洗いをせず、柄つきのスポンジなどをご使用ください。
- ぬるま湯で十分すすぎ洗いをして、乾いた布の上に伏せ、乾く前にガラスを包みこむようにして、柔らかな布などで水気をよく拭き取ってください。
- クリスタルガラスは、急激な温度変化(特に急冷)や衝突で割れることがありますので、ご注意ください。

ワンポイントアドバイス (土物・貫入食器等)

- 最初に使う時は、米のとぎ汁で30分ほど煮てください。

貫入や素地の無釉部分を目づまりさせ、料理に含まれる油分や水分が入り込むのを防ぐ効果があります。

※米のとぎ汁で煮沸する時、沸騰しているところへ器を入れないでください。少しずつ加熱して煮沸します。

※米のとぎ汁の他にも、小麦粉を水で溶いた液体の中に浸けておく方法もあります。



[A] ABS樹脂熱可塑性樹脂

耐久性が高く衝撃にも強く、色もはげにくい素材。

[AC] アクリル樹脂熱可塑性樹脂

透明度が高い。洗浄機の使用不可。

[M] 熱硬化性樹脂メラミン樹脂またはユリア樹脂

重量感があるが、落とすと割れる可能性がある。

[木質] 木粉混合樹脂熱硬化性樹脂

樹脂に木粉を配合したもの。耐熱温度90℃~100℃。

[TM] 熱硬化特殊樹脂

手ざわりがソフトで耐熱性・保温性に優れる。

[SPS] SPS樹脂

シンジオタクチックポリスチレンの略で、耐熱性に優れる。

[TA] 耐熱ABS樹脂

従来のABS樹脂より耐熱性が高い。電子レンジ不可。

[P.P] ポリプロピレン樹脂

軽く割れにくい。傷がつきやすいので注意が必要。

[FRP] FRP樹脂熱硬化性樹脂

ガラス繊維と不飽和ポリエステルを配合した、難燃性強化プラスチック。

[木] 木製品

洗う時は、ぬるま湯を使い手洗いをする。

[PET] ペット樹脂

ポリエチレンテレフタレート(PET)の略で、耐熱性に優れる。

[PBT] PBT樹脂

ポリブチレンテレフタレート(PBT)の略で、耐熱性に優れる。